

C) 普及啓発等を通じて新たな拡散を防止する種類

シチヘンゲ

クマツヅラ科 *Lantana camara*

原産地：熱帯アメリカ

生態系被害防止外来種リスト：重点対策外来種

IUCN 世界の侵略的外来種ワースト 100

特徴

園芸植物として世界中で侵入している低木。ランタナの名前でも知られ、花の色が変化していくのが、最大の特徴。

葉 : 卵形から心臓型。縁にはギザギザ(鋸歯)がある。茎の同じ箇所から2枚の葉が対になって生える(対生)。

繁殖 : 果実は野鳥やヤギ等に好まれるため、これらの動物によって分布を拡大している。また種子は野外で10年以上発芽能力持つという報告もある。栄養繁殖による繁殖も旺盛で、地下茎により横方向に広がり厚い藪を形成する。



影響 : 厚い藪を形成し、周囲の植物の成長や発芽を妨げるなど在来種との競合が懸念される。また果実は食中毒を引き起こす事例も知られ注意が必要。

侵入状況 : 市街地、集落の生け垣、花壇やそれらから逸出したと思われる群落が島中で見られる。

対策状況 : 未だ具体的な対策は実施できていない。

防除のコツ : 果実が熟するまでの時期に防除するのが望ましい。地下茎からも再生育するため、丁寧に抜き取る作業が求められる。